

流通とSC・私の視点

2015年1月20日

視点(1904)

思考の超原点とは!!

(研究思考と成果の概念編)

流通及びSCの研究では、世の中の流通現象やSC現象を見たり自分の経験から得るレベルのものが多々あります。しかし、単に流通とSCの現象や経験だけでは真の成功・成立のメカニズムによる未来予測は「深く」かつ「的確」に研究することはできません。

そこで比喩論による研究、またその研究によって「未来が見える(未来を可視化する)」手法として「**歴史的思考**」と「**国際的思考**」があります(詳細は流通と私の視点1869参照)。歴史的思考とは、「過去と現在」を比較してそのメカニズムを把握することです。国際的思考とは、「先進国と後進国」を比較してその現象をメカニズムで把握することです。いずれにしても、流通及びSCの「**成立・成功のメカニズム**」の現象を体系的に調べ、共通パターンを未来志向で把握することです。

この歴史的思考も国際的思考も基本的には事例研究(過去の事例あるいは先進事例を体系的に経験原則化)ですが、一見全く関係のない分野での現象を流通やSCの分野に波及応用して流通及びSCの成立・成功のメカニズムを解明する手法があります。これを「**異分野からの波及応用思考**」と言います(六車流:流通・マーケティング理論)。

異分野からの波及応用思考とは、現在・過去・先進国・後進国で起こっている流通・SC現象をメカニズムとして体系的に調べて共通パターン化する思考ではなく、人間・動物・植物・宇宙の自然分野で起こっている根源的現象を体系的に調べて共通パターン化し、流通及びSCの成立・成功のメカニズムの解明に適用することです。人間・動物・植物・宇宙は自然現象かつ自然科学の分野で、流通・SCは経済・流通現象かつ社会現象ですが、共通のパターンが随所に見られます。

すなわち、流通・SCの目的は「**生き残り**と**勝ち残り**」であり、実は人間・動物・植物・宇宙の自然界においても、DNA的には「**子孫を残すための生き残り**と**勝ち残り(子孫の繁栄)**」が目的なのです。宇宙においても生きものと同じように、ニュートンの万有引力の法則に基づいた激しい生き残り勝ち残りをかけた闘いが恒星や惑星間で起こっています。つまり、自然界と流通・SC界における意味の共通用語としては「**縄張り=商圏範囲**」「**食料=人口・マーケット**」「**棲みか(巣)=SC**」「**武器=戦略・戦術・運営**」であり、それぞれの主体は自らの得意とする手法で生き残り・勝ち残りを目指しています。

自然界においては、生き残り(棲み分け・差別化して特定の分野で生き残る位置づけ)と勝ち残り(絶対的優位性を持つ位置づけ)の「**普遍の原則**」があります。万物を創った偉大な神は自然界や流通・SCの成立・成功の根源のメカニズムを1つのプログラム化し、見た目は異なりますがメカニズム的には同一にしたものと思われれます。以上のことを要約すると次の通りになります。

生き抜く・勝ち抜くDNAは共通のメカニズム			
人間界	動物界	植物界	宇宙界
①孫子の兵法 ②ランチェスタ理論 ③大国の理論(ジョン・J・ミアシャイマー) ④五輪書(宮本武蔵) ⑤戦記物語 ⑥様々な兵法 ⑦様々なビジネスモデル …等	①マダガスカルの猿の多様化現象 ②ガラパゴスの動物の進化現象 ③コスタリカの動物と地形の多様化現象 ④昆虫の生き残り現象 ⑤パンダの竹好き現象 …等	①植物の光合成現象(水、日光、炭酸ガス、窒素) ②森林・密林の生き残り・勝ち残り現象 ③植物の同種の平原づくり現象 ④植物の共生現象 …等	①ニュートンの万有引力の法則 ②恒星2.5惑星理論 ③地球の46億年間の激変による動植物の進化の促進理論 ④アインシュタインの相対性理論 …等

これらの人間界・動物界・植物界・宇宙界の現象は、体系化して同一パターンとしてメカニズム化すると、流通・SC業界の成立・成功のメカニズムにモデル化できます。これを思考の超原点と言います。

(株)ダイナミックマーケティング社⁺
代 表 六 車 秀 之